

天文現象など☾

- 10/3 新月 ☾
 10/5,6 月と金星が並ぶ (夕方・西の低空)
 10/7,8 月とアンタレスが並ぶ (夕方・西の空)
 10/11 上弦 ☾
 10/14 月と土星が並ぶ
 10/15 後の月 (十三夜)
 10/17 満月 ● (今年最も地球に近い満月)
 10/19 月とすばるが並ぶ
 10/21 月と木星が並ぶ (21 時～明け方)
 10/23 月・火星・ボルクスが並ぶ (23 時～明け方)
 10/24 下弦 ☾
 10/27 月とレグルスが並ぶ (明け方・東の空)

星空ワンポイント👁️

明るい星が少なく、ちょっと寂しくも感じる秋の空。

たったひとつの 1 等星である、みなみのうお座のフォーマルハウトを「秋のひとつ星」や「南のひとつ星」とよんだりします。

でも今年は、それより高いところにもうひとつ、明るい土星が加わって、いつも以上にぎやかです。



- ★ 1 等星
 ● 2 等星
 ○ 3 等星
 ・ 4 等星以下

星図は空にかざして使います。
 東の空を眺めるときは、星図の東が下になるように持ってかざします。

今月の一枚🌕

中秋の名月

旧暦 8 月 15 日の月を指す「中秋の名月」。今年は翌日が満月だったため、ほんのわずかに欠けた形となりました。さらに日本には秋の深まってきたころに少し欠けた月を楽しむ風習もあり、「後の月」や「名残の月」、「十三夜」などと呼ばれています。具体的には旧暦 9 月 13 日の夜の月のことを指していて、2024 年は 10 月 15 日がこの日にあたります。

ところで、10 月の満月は 2024 年で地球との距離が最も近い満月です。遠いときと比べるとおよそ 1.1 倍大きく見え、比率だけでいえば 1 円玉と 100 円玉くらいの差があることになります。2 種類のコインを並べると大きさの違いがはっきり分かりますが、空に輝く月は 2 つ並べて比べることができないので、大きさを実感するのは難しいかもしれません。それでも大きな月と知っているだけで、何だか少し特別に感じられそうですね。



撮影：多摩六都科学館

全編生解説プラネタリウム
宇宙のオバケ?

夏の賑わいが去った静かな秋の夜空には、幻想的にも不気味にも見える「宇宙のオバケ」が数多くひそんでいます。宇宙へ飛び出し、ハロウィンの空に隠れるオバケたちの正体を暴いてしまいましょう!!

なぜ恐ろしく見えるのでしょうか。そして、恐ろしいのは本当に見ただけなのでしょうか…?

投影期間 11 月 24 日 (日) まで

2024.10 ☐ …休館日

日	月	火	水	木	金	土
		1 都民の日	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12 観望会
13	14 追加投影あり	15	16	17	18	19
20	21	22	23 おもいやり	24	25	26
27	28	29	30 大人向け	31		

各日のイベント・投影の内容や参加方法については
 当館 web サイトまたはロクトニュースにてご確認ください